

# 短歌だより

作品提供 松前町文化協会

買物の自転車とめて臘梅の

匂ひ楽しむ暖かき午後

北黒田 三好 正子

術後の吾にやさしく声をかけくるる

友あり嬉し心和睦日々

北黒田 竹田 純子

友の家を出づれば淡き月影に

白木蓮の花しずかなり

東古泉 三好 澄子

あるなしの風に乗りしか朝の陽に

糸きらきらと子蜘蛛飛びゆく

東古泉 萩野 早苗

高速道次から次へと刻の尾を

捉へるやうに流れる車

恵久美 池内 文俊

音もなく小糠雨降る夕つ方

庭にこぼれし灯油がにほふ

恵久美 池内 寿美子

正月の箱根駅伝走る孫

顔をゆがめて必死の面差

中川原 山本 清子

日の没りて残る茜に星かとも

見えて移らふ二機のきらめき

中川原 本田 康子

塩漬けのさくら花びら湯にひらき

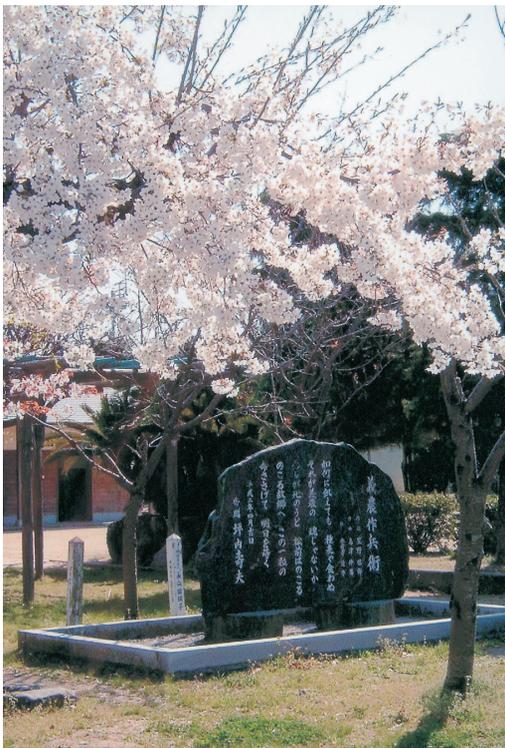
揺らめく椀に香り満たしぬ

北川原 門脇 圭子

永らへて今年もめぐるさくら花

二ひら三ひら我が膝にまふ

北黒田 澤井 定子



## 編集後記

平成19年度予算が決定され、松前町行財政改革3年計画の最終年度がスタートしました。

合併しない単独の町づくりを目指して行財政改革を開始した当町にとって、フジの大型商業施設建設開始や東レ炭素繊維増設工場の生産開始、これらによる大幅な雇用機会拡大など明るい兆しはあるものの、小泉流三位一体改革によるアンバランスな地方交付税削減と税源委譲により、財政は依然として油断出来ない状況にあります。何としても行財政改革を成し遂げ新生松前町の道筋をつける重要な年になるものと考えます。

行政・議会・町民が良い意味での三位一体となって取り組んで参りたいと考えますので、ご協力をお願い致します。